

おおうち

第 156 号

2019 年 8 月 5 日発行

T E L 0193 - 42 - 2111

F A X 0193 - 42 - 3855

発行 大槌町議会

議会報

2019 クラスマッチ
(県立大槌高等学校)



主な内容 ・ 審議した議案・・・・・・・・・・ 2～3
・ 一般質問の内容・・・・・・・・・・ 4～9

令和元年6月定例会

一般質問に6議員が登壇

令和元年6月定例会は、6月7日から13日までの7日間（休会日含む）の会期で開催されました。今期定例会には、大槌町森林環境譲与税基金条例の制定に係る議案と、大槌町固定資産評価審査委員会の選任に関し同意を求め、元年度一般会計補正予算など、報告6件、議案15件、発議案2件が提案されました。

また、一般質問には6議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をたどしました。

◆議案—*

《委員の選任の同意》

◎大槌町固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めること…岩間正行氏を選任することに同意を求めるものです。（賛成多数・原案同意）

《条例の制定・改正》

◎大槌町森林環境譲与税基金条例の制定…森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律が本年4月1日に施行され、今年

正を行うものです。（全員賛成・原案可決）

契約を締結するものです。（全員賛成・原案可決）

◎大槌町介護保険条例の一部改正…介護保険法及び介護保険施行令の一部改正に伴い、保険料の減額幅の基準について、所要の改正を行うものです。（全員賛成・原案可決）

◎工事請負契約の締結…大槌町浪板地区、吉里吉里地区、赤浜地区、安渡地区及び小枕・伸松地区他第1期工事において、詳細設計成果などを反映した事業費の変更を実施し、請負額を1億1747万760円増額し、事業費総額を376億2782万5350円とするものです。（全員賛成・原案可決）

◎大槌町産業集積地の使用等に関する条例の一部改正…集約まちづくり基盤施設整備事業を活用し整備された区域を新たに産業集積地に追加するため、所要の改正を行うものです。（全員賛成・原案可決）

◎工事請負契約の締結…大槌町浪板地区、吉里吉里地区、赤浜地区、安渡地区及び小枕・伸松地区他第2期工事において、詳細設計成果などを反映した事業費の変更を実施し、請負額を563万6520円増額し、事業費総額を12億7738万5120円とするものです。

◎大槌町子ども、妊産婦及び重度心身障害者医療給付条例の一部改正…本年8月から県内統一で、医療費給付事業の現物給付方式を小学校卒業まで拡大することに伴い、所要の改正を行うものです。（全員賛成・原案可決）

◎大槌町すこやか子育て医療費給付条例の一部改正…本年8月からの県内統一で、医療費給付事業の現物給付方式を小学校卒業まで拡大することに伴い、所要の改正を行うものです。（全員賛成・原案可決）

《契約の締結》

◎工事請負契約の締結…吉里吉里地区雨水排水路整備工事において、指名競争入札により有限会社岩間建設工業と5845万4千円で工事請負

◎大槌町子ども、妊産婦及び重度心身障害者医療給付条例の一部改正…本年8月からの県内統一で、医療費給付事業の現物給付方式を小学校卒業まで拡大することに伴い、所要の改正を行うものです。（全員賛成・原案可決）

◎大槌町子ども、妊産婦及び重度心身障害者医療給付条例の一部改正…本年8月からの県内統一で、医療費給付事業の現物給付方式を小学校卒業まで拡大することに伴い、所要の改正を行うものです。（全員賛成・原案可決）

議会の動き

（5月）

- 8日・山田町議会行政視察
- 10日・議会運営委員会
- ・兵庫県丹波市議会行政視察
- 14日・東部議長会定期総会（普代村）
- 15日・令和元年第1回臨時会
- ・金石地区交通安全協会
- 大槌支会定期総会
- 16日・町村議会議員研修会（盛岡市）
- 17日・産業建設常任委員会
- 18日・大槌学園体育祭
- 20日・三陸沿岸道路整備促進期成同盟会総会（宮古市）
- ・震災伝承施設登録証伝達式及び標識お披露目式（宮古市）
- 23日・大槌商工会通常総会
- 24日・全員協議会
- ・合同常任委員会
- 25日・戦没者追悼式
- 28日・議長・副議長研修会（東京都）
- ・三陸縦貫自動車道整備促進協議会総会（金石市）
- 30日・大槌町シルバー人材センター通常総会

（6月）

- 2日・大槌町消防演習
- 4日・議会運営委員会

(全員賛成・原案可決)

◎工事請負契約の締結

：集約まちづくり基盤施設整備工事において、工事数量の確定に伴う請負額の変更を実施し、請負額を837万4320円減額し総事業費を2億4720万120円とするものです。

(全員賛成・原案可決)

◎工事請負契約の締結

：町道大ケ口線大桁橋架替(下部工)工事において、施工完了による数量精査及び残土処分量の増に伴う請負額の変更を実施し、請負額を1764万2880円増額し総事業費を5億5116万8280円とするものです。

(全員賛成・原案可決)

◎財産の取得

：財産の取得：大型バス1台を、指名競

争入札により1634万2514円で取得するものです。

(全員賛成・原案可決)

《予算》

◎令和元年度大槌町一般会計補正予算(第1号)を定めること：浪板大橋整備工事及びまちのにぎわい創出事業補助金などによる増額補正により、歳入歳出予算を9億6045万5千円増額し、予算の総額を210億6045万5千円とするものです。

(全員賛成・原案可決)

◆請願—*

《採択となった請願》

◎最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める請願

(岩手県労働組合連合会 議長 金野 耕治、金石地方労働組合連合会 議長 佐久間 悟)

◆発議案—*

◎新たな過疎対策法の制定に関する意見書

：過疎地域が、そこに住み続ける住民にとつて安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであるから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させる必要があるため、新たな過疎対策法の制定を求めるものです。

(全員賛成・原案可決)

◎最低賃金の改善と中小企業支援の拡充

を求める意見書：最低賃金を引き上げるとともに、地域間格差を解消するための施策を進めることと、中小企業負担を軽減するため、社会保険料や税の負担減免等の支援策を実現することを求めるもので

す。

(全員賛成・原案可決)

◆第1回臨時会

令和元年第1回臨時会は、5月15日に開催され、承認1件、報告2件、議案2件が提案されました。

◆議案—*

《契約の締結》

◎工事請負契約の締結：津波復興拠点整備事業A地区整備工事(安渡地区)その2において、特定業務施設の敷地造成を行うため、随意契約により有限会社小松組と2億3100万円で工事請負契約を締結するものです。

(全員賛成・原案可決)

◎財産の取得

：財産の取得：情報系業務用端末PCを、一般競争入札により2230万2千円で

取得するものです。

(全員賛成・原案可決)

◆第2回臨時会

令和元年第2回臨時会は、7月5日に開催され、議案2件が提案されました。

◆議案—*

《委員の選任の同意》

◎大槌町監査委員の選任に関し同意を求めること：北田和紀氏を選任することに同意を求めるものです。

(全員賛成・原案同意)

《契約の締結》

◎工事請負契約の締結：大槌町リサイクルセンター解体工事において、随意契約により株式会社八幡建設と3億4893万8650円で工事請負契約を締結するものです。

(全員賛成・原案可決)

27日・「よ市」夏まつり(末広町)

・岩手県町村議会議長会臨時総会	7日・6月定例会(13日)	・議会報編集特別委員会	9日・文化交流センター(おしゃっち)開館一周年記念式典	12日・産業建設常任委員会	13日・議会運営委員会	・全員協議会	22日・三陸沿岸道路開通式	27日・おうち地場産業活性化センター完成披露(安渡)	29日・大槌高校百周年記念式典
《7月》									
2日・議会運営委員会	4日・定住自立圏共生ビジョン懇談会(金石町)	5日・令和元年第2回臨時会	・議会報編集特別委員会	9日・大槌山田紫波線道路整備促進期成同盟会総会	・岩手県町村議会議長会第2回定例理事会(矢巾町)	10日・岩手県町村議会議長会第1回政務調査会(矢巾町)	18日・第3回大槌高校魅力化構想会議	23日・金石大槌地区行政事務組合臨時会	26日・全員協議会



芳賀 潤 議員

子供たちに必要な公園の整備は

要望などには真摯に協議し検討する

まちのにぎわい再生施策について

【問】「にぎわい」の概念も様々にあるが、何をもって、にぎわいの創出・再生と捉えているのか、当局の考えを伺う。

【答】（平野町長）

にぎわいの「再生」は自然・歴史・文化をマウンドにして地域における人と人との心を通じたつながりであり、にぎわいの「創造」は、自然・歴史・文化をマウンドに時代の変化や技術の進展が加わり、人と人との心のつながりから発生してくるのではないかと考える。「再生」と「創造」は、それぞれがかわり合いな

がら、時間や歴史の中で変化し、変化させるものだと思える。第9次大槌町総合計画の基本理念に「魅力ある人を育て創造し続けるまち大槌」を掲げており、まちのにぎわい創造と再生を図るためにも魅力あるまちづくりを進めるとともに、復興の総仕上げに向けた着実な取り組みを進めていく。

【問】復興事業の関係で、各地に防集団地、区画整理事業などがほぼ完了したが、子供たちに必要な公園などがなく、遊び場にも苦慮していると聞く。その対応について伺う。

先頃、ある団体が町内の公園などに関するアンケート調査を行ったと聞いているが、その状況に関して当局の見解を伺う。

【答】（平野町長）

防災集団移転促進事業や震災復興土地区画整理事業の目的と、遊具を有するような大規模公園などの整備は、事業目的にそぐわないことから、今回、整備した公園は、すべてベンチやテーブル、水飲み場程度の簡易な施設整備に留まっている。復興交付金事業で整備できる都市公園事業は、防災公園に限られており、津波による減災機能を有する公園の整備に限定されたものである。「大槌ふれあい公園」の

代替施設を都市公園事業で整備すべく復興庁と協議を行ったが、「都市公園法施行令」の中で住民一人当たりの都市公園の敷地面積の標準が示されており、大槌町においては城山公園だけで、その基準を上回っているため、現在、復興交付金事業の基幹事業だけではなく、効果促進事業による運動施設として整備を進めているが、社会資本整備総合交付金事業などを活用した、新たな都市公園の整備は困難な状況にある。

町内の公園に関するアンケート調査については、報道では子供が遊べるアスレチック遊具を有するような大きな公園整備を

要望していくとの内容であったと思うが、現時点で正式な要望は受けていない。今後、具体的な要望などがあった場合は、真摯に協議し、どのような手法を用いれば、財源の問題、維持管理の問題なども解決でき、なおかつ、子供たちの健全な育成、大槌町のにぎわいの創出ができるようになるか検討を進めていきたい。

地域課題の解消に向けた施策について

【問】震災前、震災後、各地域には、様々な課題や懸案事項があると思うが、震災による被害を直接受けなかった地域では、この8年間、復興優先の

思いから、町に言い出せなかった地域課題や要望があることも聞いている。今後の課題解決に向けた取り組みについて伺う。

【答】（平野町長）

本年度から、東日本大震災津波復興基本計画の後継となる、第9次大槌町総合計画がスタートし、本計画に基づいてまちづくりを進めていく。震災前の地域課題と震災後の新たな地域課題への取り組みについて、様々な問題があることは承知している。課題の重要性、緊急性等を踏まえ、財源の確保に努め、実施計画の中で精査しながら順次取り組んでいく。

ワンストップサービスの導入は

システム更新時期に合わせ検討する



澤山 美恵子 議員

ワンストップサービスについて

【問】住民票や戸籍抄本の交付や異動届等の「ワンストップサービス」を導入してはどうか。

【答】（平野町長）

システム上の関係もあり1ヶ所の窓口においてすべての証明書や発行物を交付することはできないが、組織再編に伴う執務室の配置変更やシステム更新時期などに合わせ窓口対応のあり方についても検討する。

町職員の心の健康について

【問】震災から8年経った今も心の病に悩む職員がいると聞く。心の健康を

損なう主な原因と、その原因は年数の経過とともに変わってきているか。

【答】（平野町長）

震災ストレス面談利用者数は極端な増減傾向にはない状態である。心の健康を損なう要因については、職員個々により事情は異なると考えている。共通する問題としては震災前と比較し応急・復旧



役場町民課窓口

対応への業務が増加したことや職場環境や職員の生活環境も大きく変化したことが要因と推測される。

職員の超過勤務について

【問】同じ職場に働いていながら労働時間に大きな差があるようだが、その実態と対策は。

【答】（平野町長）

所属における年度ごとの復興事業や関連事業などの事務事業量により生じることが要因と考えられる。適正な人員配置、職員の心身の健康面を留意しながら事務事業を推進していく。

防災について

【問】「新大槌トンネル」付近の施設整備は土砂災害危険区域に指定されたが、施設整備はどうなるか。

【答】（平野町長）

今回の基礎調査の結果は、当該箇所が土砂災害警戒区域内に含まれること、洪水浸水想定区域に含まれている。避難者の生命、安全の確保が最優先であることから、避難施設の整備は難しい。

防災倉庫について

【問】防災倉庫の備蓄状況はどうなっているのか。

【答】（平野町長）

町指定避難所、公共施設など、町内各所に分散している主な備蓄は、飲料水、食糧品、生活用品や資機材などである。アルファ化米や、飲料水については指定避難所みの備蓄を原則としている。

【問】県営屋敷前アパートの防災倉庫の鍵や、他の地区の防災倉庫の鍵の管理はどうなっているのか。

【答】（平野町長）

町管理の防災倉庫の鍵は、施設を管理している

地元の方をお願いしている。県営屋敷前アパートの防災倉庫の鍵は、県と協議中で自治会に管理をお願いする方向で調整をする。

【問】防災倉庫から離れた所に住んでいる方々は有事の際の資機材を使いたくても取りに行けない。防災倉庫の配置基準について伺う。

【答】（平野町長）

配置基準は特に定めたものはない。指定避難所は、災害対策基本法により市町村長が指定するものとされている。

中央公民館への避難について

【問】大雨が降ると見込まれ避難を呼びかける時、役場から中央公民館までバスで出してはどうか。

【答】（平野町長）

状況に応じて必要であると判断した場合は、その都度対応していく。



東 梅 守 議員

平野町政4年間の評価について

ハード面の整備が終わりおおむね達成

平野町政4年間の評価について

【問】4年前、「選択と集中」を掲げ平野町政が誕生した。3月の定例会において、来る町長選挙への出馬を表明されたが、町長が掲げる「選択と集中」は復興の加速化を目指すものであったが、その達成度と解決できなかった課題は何か。また、総合発展計画にどのように反映されているのか伺う。

【答】（平野町長）

4年間の復興まちづくりについて、各種ハード面の整備は、終わりが見えおおむね達成できた。一方、人口減少の抑止、



東日本大震災津波からの復興が進む大槌町

少子高齢化、住宅移転跡地の活用、空き地対策、コミュニティの再生・構築など時間を要するものであり、継続して取り組む課題であると認識、第9次大槌町総合計画の6つの基本方針に反映する。

住宅再建にかかる上乗せ補助について

【問】住宅再建にかかる上乗せ補助について、制度が始まってから新たに住宅再建された戸数は、計上された予算に対し比率は小さく、「まちづくり」と「にぎわい創出」が進捗していないと捉えるが見解を伺う。

【答】（平野町長）

補助金交付実績は262件、内48件が新たに住宅建築した方となっており、被災者の住宅再建、新規住宅建設の契機となり活性化につながり一定程度の効果があったものと考えている。

災害公営住宅の入居状況と見通しについて

【問】現在、震災後に大槌町に転入した方や、大槌町に戻りたいと考えている方もいる。現状では災害公営住宅に空きがあっても制度上入居できないが、他の自治体の中には緩和策を打ち出して入居できるところもある。見解を伺う。

【答】（平野町長）

6月1日現在、災害公営住宅の空室は32戸、応急仮設住宅に112世帯が入居しており、入居の移行調査を実施させたところである。結果を踏まえて被災者以外への一般開放手続きを進めたい。

三陸防災復興プロジェクト2019について

【問】先の全員協議会で「震災記録誌」の発刊時期が延期される報告があったが、遺族の声だけではなく、第三者による検証の必要性は否定されるものではないと考えるが、改めて「忘れない、伝える、備える」、同じ災禍を繰り返さないためにも検証は必要と考えるが見解を伺う。

【答】（平野町長）

検証については、これまで二度行い、その提言に沿い、ハード面・ソフト面の防災対策を講じており、改めて検証を行う予定はない。「生きた

証回顧録」「震災記録誌」の活用などにより防災文化の醸成を図っていく。

【問】6月から「三陸防災復興プロジェクト2019」が開催されている。去る3日には、安渡地区の防災の取り組みが公開されたが、当町において自主防災組織の拡大が重要と考える。取り組み状況は。

【答】（平野町長）

町内には25の自主防災組織が結成され、年2回連絡会を開催している。町からの事業説明、各地区の事業報告など、情報共有を図り、防災力の向上に努めている。

早期の駅前再建が必要なのは

観光交流協会などとの交流人口の拡大を図る



下村 義則 議員

まちづくりについて

【問】第9次大槌町総合計画に、駅前再建を取り上げているのか。

【答】（平野町長）

第9次大槌町総合計画には、駅前再建はありません。

【問】宮城県の女川町駅や他市町村の駅前などを視察したが、商店街が再建され商店街を形成している。大槌町では今の駅前の状況で、どのようにして交流人口を呼び込もうとしているのか。

【答】（平野町長）
関係事業者や大槌町観光

交流協会と連携し、交流人口の拡大に向けて総力を挙げて取り組む。本年12月末には駅前に9店舗が再建を目指している。



再開発が進まない大槌駅前

高齢者や独居世帯の見守りについて

【問】県内の災害公営住宅での孤独死が増加している。また、町内でも今年に入ってから亡くなっている。各地域でも声掛け運動をしているが限界があると思う。町の見守りや心のケア支援は。

【答】（平野町長）

被災者や高齢者のすべての方を常に見守ることは、町としても限度があるが、近隣の方の状況把握など民生委員の訪問相談や自治会の地域活動などにより、見守り活動や声掛けなど、今後、住民の皆様とともに、検討していく。

三陸沿岸道路の開通について

【問】沿岸部の縦軸として整備が進められている三陸沿岸道路の釜石北から大槌間が、6月22日開通する。浪板地区に整備されたパーキングの活用は。

【答】（平野町長）

浪板地区のパーキングから三陸沿岸道路の下を函渠で横断し、のり面を接しながら、宮古方面に走る側道は、町道浪板6号線として町道認定している。

【問】事故や災害が発生した場合、三陸沿岸道路から浪板地区の町道を通り国道45号線へ避難したり、緊急車両の乗降も考えられることから、町道への整備が必要と思うが。

【答】（平野町長）

町道田屋線から町道浪板6号線の接道部分、約30メートル間の幅員が2メートル程度と狭くなっていることから、社会資本整備総合交付金を活用し、道路を改良することになっており、用地交渉が整い次第早急に整備を進める。

【問】パーキングフェンスの鍵の管理は。

【答】（田中危機管理室長）

釜石消防署・大槌消防署・危機管理室の3ヶ所。

トイレの洋式化について

【問】最近、県内の小中学校で、トイレの洋式化が加速している。

当町の学校、公共施設の洋式率は。

【答】（沼田教育長）

大槌学園は、男子80%、女子91%。吉里吉里学園は、21%から36%になっている。

また、町の指定避難所は55%、公共施設は58%から79%になっている。

【問】吉里吉里学園の洋式化率が他より低くなっている。町指定避難所になっているので、洋式化への改修が必要と思うが。

【答】（沼田教育長）

地区住民及び学園・保護者等の要望や意見を踏まえ、実現化を図っていく。



阿部 俊作 議員

高校卒業まで医療費助成を

医療費助成交付は次年度から実施

子ども子育て支援について

【問】子供の医療費助成を高校卒業までにしてはどうか。

【答】（平野町長）

高校生までの医療費助成は次年度からの実施に向けて準備を進める。あわせて全国町村会を通じて国の制度として医療費助成の実施を要望する。

【問】国民健康保険税は、協会けんぽと比べて格差が大きい。子供にも課税される均等割は少子化対策に逆行している。収入がない資産には資産割課税を廃止している自治体が県内にもある。当町は



大槌高校玄関

どう考える。

【答】（平野町長）

指摘を踏まえ検討する。

まちづくりについて

【問】文化庁は地域の魅力を発信する「日本遺産」に平泉町と金産出の歴史を伝える団体を認定した。当町にも山城・金産出・たたら製鉄・御社地など

地域魅力の遺跡は多くあり、まちづくりや交流人口の拡大には欠かせない。御社地は町の指定文化財であったが、どうなったか。

【答】（沼田教育長）

史跡公園として、本年3月22日付で新たに追加指定を行った。

【問】有志の方々の天満宮

再建について、当局の考えは。

【答】（沼田教育長）

町の指定遺跡地内への設置であり、天満宮再建に伴う協議を行う。

【問】御社地には、もともと天満宮があり、池があった。祖晴の石碑も復旧し、未来へ伝えるべきでは。

政教分離とは宗教の政治利用の禁止であり、歴史的遺産の復旧を町が行っても問題はないのでは。

【答】（沼田教育長）

法律はどうかを含めて検討する。

【問】文化交流センターの西側ガラスにフィルムを張ってはどうか。

【答】（沼田教育長）

暑い日にはカーテンを閉めて電力量の軽減を図る。

【問】維持管理費を問うのではない。快適な環境の工夫は。

【答】（沼田教育長）

維持管理費低減と快適性を確保し、愛される施設となるよう努力する。

農業振興について

【問】当町の食料自給率はどれほどか。

【答】（平野町長）

カロリーベース25%、生産額52%と算出される。

【問】自給農家の現状にも、指導・支援を考えては。

【答】（平野町長）

自給農家の農業継続は農地の多面的機能維持にも重要。各種交付金を活用し農業者を支援する。

きらり商店街について

【問】跡地利用は十分な審議が必要では。

【答】（平野町長）

情報収集を行っている。議員・町民と十分検討する。

今後のまちづくりへの取り組み方は

地域活動・民間活動を支援していく



佐々木 慶一 議員

復興終盤の足元事業の課題について

【問】復興事業が終盤を迎える中、今後進めなければならない事業の課題及び対応策は。

【答】（平野町長）

最終段階に入った災害公営住宅整備は、今年度の完了に向け、鋭意進捗を図っている。

一部の道路事業・上下水道整備などのインフラ整備及び産業用地整備事業については、工事の着手に時間を要しているが、復興・創生期間内での事業完了を図るべく、解決に向け取り組んでいく。

岩手県が行う大槌川・小槌川水門などについて

は、県に対し、早期の完成を要望している。

【問】須賀町・栄町等の防災集団移転元地に見られるような、空き地の土地利用方針は。

【答】（平野町長）

町方の運動施設や湧水などの郷土財活用エリアについては、整備に向けた事業を進めている。

ただ、移転元地の中に利用目的が定まっていないうエリアがあるため、対応方針については現在検討中である。

方針決定に当たっては、議会・町民の意見を聞きながら進めていく。



須賀町・栄町などの防災元地（鉄道右側）

活力あるまちづくりの取り組みについて

【問】これまでの復興計画実施状況を踏まえて、第9次大槌町総合計画を進める上での今後の町行政としてのかわり方は。

【答】（平野町長）

大槌町復興計画の後継に位置づけられる「第9次大槌町総合計画」の推進では、行政の役割として情報公開とともに地域活動・住民活動が自立・維持できるよう、側面的に支援していく。

【問】6月22日の三陸沿岸道路「大槌―釜石北インターチェンジ」開通に伴うストロ―現象による大槌町の人・物の対応として、あるいは子供の遊び場確保スペースとしての「きらり商店街跡地」の活用が考えられるが、これ



跡地利用が課題のきらり商店街

らを含めた今後のまちづくりに対する取り組み方は。

【答】（平野町長）

さまざまな情報発信方法により、これまでの復興過程における町内外の協力者も含めた住民参加型の合意形成を重視し取り組んでいく。

表紙写真



表紙の写真は、令和元年6月20日・21日に大槌高校で行われた「クラスマッチ」の様子です。各クラスで準備したTシャツを着て、気持ち一つに汗を流す高校生がとてもまぶしく感じ、「青春」というものを感じ出した時間でした。保護者の方々が作った昼食のカレーの味も青春の一ページになったのではないのでしょうか。



定例会・臨時会議員出欠表

議席番号	議員氏名	6月定例会		第1回臨時会		第2回臨時会	
		6 / 7 ~ 13		5 / 15		7 / 5	
		出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席
1	佐々木慶一	4	0	1	0	1	0
2	下村 義則	4	0	1	0	1	0
3	澤山美恵子	4	0	1	0	1	0
5	阿部 三平	4	0	1	0	1	0
6	小笠原正年	4	0	1	0	0	1
7	東梅 守	4	0	1	0	1	0
8	阿部 俊作	4	0	1	0	1	0
9	東梅 康悦	4	0	1	0	0	1
10	及川 伸	4	0	0	1	1	0
11	金崎 悟朗	4	0	1	0	1	0
12	阿部 義正	4	0	1	0	1	0
13	芳賀 潤	4	0	1	0	1	0
14	小松 則明	4	0	1	0	1	0

委員長 佐々木慶一
副委員長 阿部 俊作
委員 東梅 守
委員 阿部 三平
委員 下村 義則

議会報編集特別委員会

(佐々木慶一)

議会報の作成に当たっては、多くの町民の方々が大槌町の議会・行政に感心を向けていただけるような、また、より親しみが持てるような議会報となるよう努めてまいりました。本任期での委員長としての議会報発行は、今回の156号をもって最後となります。次号からの議会報も引き続きご精読いただきますようお願い申し上げます。

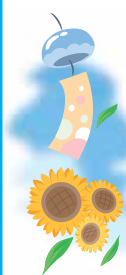
表紙タイトル



今回の表紙タイトル「おおつち」は、大槌高校2年生(30年度3月時)の佐々木加奈さんに書いていただきました。デザインに込めた思いなどを伺いました。

Q どんなテーマで描いたのですか。
A 夏と聞いて思い浮かんだものと大槌の観光名所を混ぜ合わせて描きました。

おおつち



Q 大槌町のどんなところが好きですか。
A おいしい海産物といつでも虫捕りに行ける環境が好きです。
Q 大槌町がどんな町になったらいいと思いますか。
A 子供が安心して暮らせる、思い出に残るような町がよいと思います。

特別編

おおつち

上記のタイトル画は、大槌高校2年生(30年度3月時)の菊池歩優さんに書いていただきました。文字の緑色の部分は、大槌の山々の緑を、水色の部分は海や川をイメージして描いたそうです。

大槌の魅力や菊池さんの「ふるさと大槌」への思いが伝わってくる作品でした。ありがとうございました。

編集後記

▼2017年9月から議会報編集特別委員会の委員長を務めてまいりました佐々木慶一です。この2年間は復興の加速化・地域コミュニティの再構築・特に猛威を振るう自然災害への対応など、町政の動きも含めて大槌町の諸課題とその対応について掲載してまいりました。